

# 古河電子株式会社

FURUKAWA DENSHI CO.,LTD.

URL: <http://www.furukawa-denshi.co.jp>

## 会 社 案 内

CORPORATE PROFILE



FURUKAWA DENSHI CO.,LTD.

2021.04.01.

## 高純度・高品質なキーマテリアルの提供により 最先端のIT・エレクトロニクス技術を支えています。

現在のIT(情報技術)の進展になくてはならないもの、それがガリウムヒ素半導体の原料となる高純度金属ヒ素です。当社はその特性に早くから着目し、1961年、高純度金属ヒ素の研究に着手しました。そして、1972年にはいわき工場(福島県いわき市)を設立してから99.999995%(7N5)などの高純度金属ヒ素の量産を進め、現在では世界のトップメーカーとしての地位を揺るぎないものとしています。

高純度金属ヒ素のほか、電子機器・情報機器に使用される高品質の各種高純度製品、各種化合物半導体、ノイズフィルター、窒化アルミセラミックス、レーザー用レンズ、レーザー用ミラーなどを製造・販売しています。当社が提供する電子材料製品が、現在のIT社会を支えていると言っても過言ではありません。

21世紀は高度情報化が加速することが予想され、一層の技術革新が求められます。当社グループは絶えまない技術開発を進め、次世代を担う新製品の開発に取り組んでいます。

### グループ経営体制

古河機械金属株式会社は、多様化するお客様の要望にお応えすると同時に、国境を越えたグローバルな企業間競争に勝ち抜くため、事業の選択と集中による事業再構築、財務体質の改善・強化に努めてきました。そして、新たな経営のあり方として、2005(平成17)年には分社化によるグループ経営体制を採用。各事業を分社化し、事業持株会社である古河機械金属株式会社を中核とした「古河機械金属グループ」としての経営体制に移行しました。

古河電子株式会社は、古河機械金属株式会社が100%出資する古河機械金属グループの中核事業会社です。

弊社では経営効率の向上を図ると共に顧客の皆様にご満足頂ける製品、技術、サービスを提供するため、役員、従業員一同が一丸となりまして社業に全力を傾注して参ります。

代表取締役社長 飯田 仁

商号：古河電子株式会社

Furukawa Denshi Co., Ltd.

事業内容：電子材料製造業

設立：2005(平成17)年3月1日

◇本社・いわき工場：〒970-1153 福島県いわき市好間町上好間字小館20

電話番号：(0246)-36-2016(代表)ファックス：(0246)-36-3973

代表者：代表取締役社長 飯田 仁

資本金：300百万円(2021年4月1日現在)

従業員数：214人(2021年3月31日現在・いわき地区159人)

決算期：3月31日

大株主：古河機械金属(株) 100%

◇営業部：〒100-8370 東京都千代田区大手町二丁目6番4号 常盤橋タワー

電話番号：(03)-6636-9530

◇いわき分工場：〒970-1145 福島県いわき市好間町北好間字小田郷47-1

電話番号：(0246)-36-3606 ファックス：(0246)-36-3595

◇半導体素材分工場：〒321-1521 栃木県日光市足尾町遠下2982

電話番号：(0288)-93-2600 ファックス：(0288)-93-4788

◇光学部品分工場：〒344-0057 埼玉県春日部市南栄町11-10

電話番号：(048)-755-7700 ファックス：(048)-755-7703

### 【古河グループ】

古河グループは、古河市兵衛が古河鉱業(株)(現古河機械金属(株))を創業したことに始まります。古河機械金属(株)が事業拡大発展していく中で、産業界において活躍している古河グループ各企業が生まれ出されてきました。

現在では、会員会社52社をもって任意団体の古河三水会を構成し、古河機械金属(株)、古河電気工業(株)、(株)ADEKA、横浜ゴム(株)、富士電機(株)、富士通(株)、日本軽金属ホールディングス(株)、日本ゼオン(株)、朝日生命保険(相)及び(株)みずほフィナンシャルグループの10社を理事会社として、グループ各社相互間の緊密なる協調をはかり、それぞれの企業活動の強化促進に努めています。



(本社・いわき工場)

# 事業紹介

## 主要製品

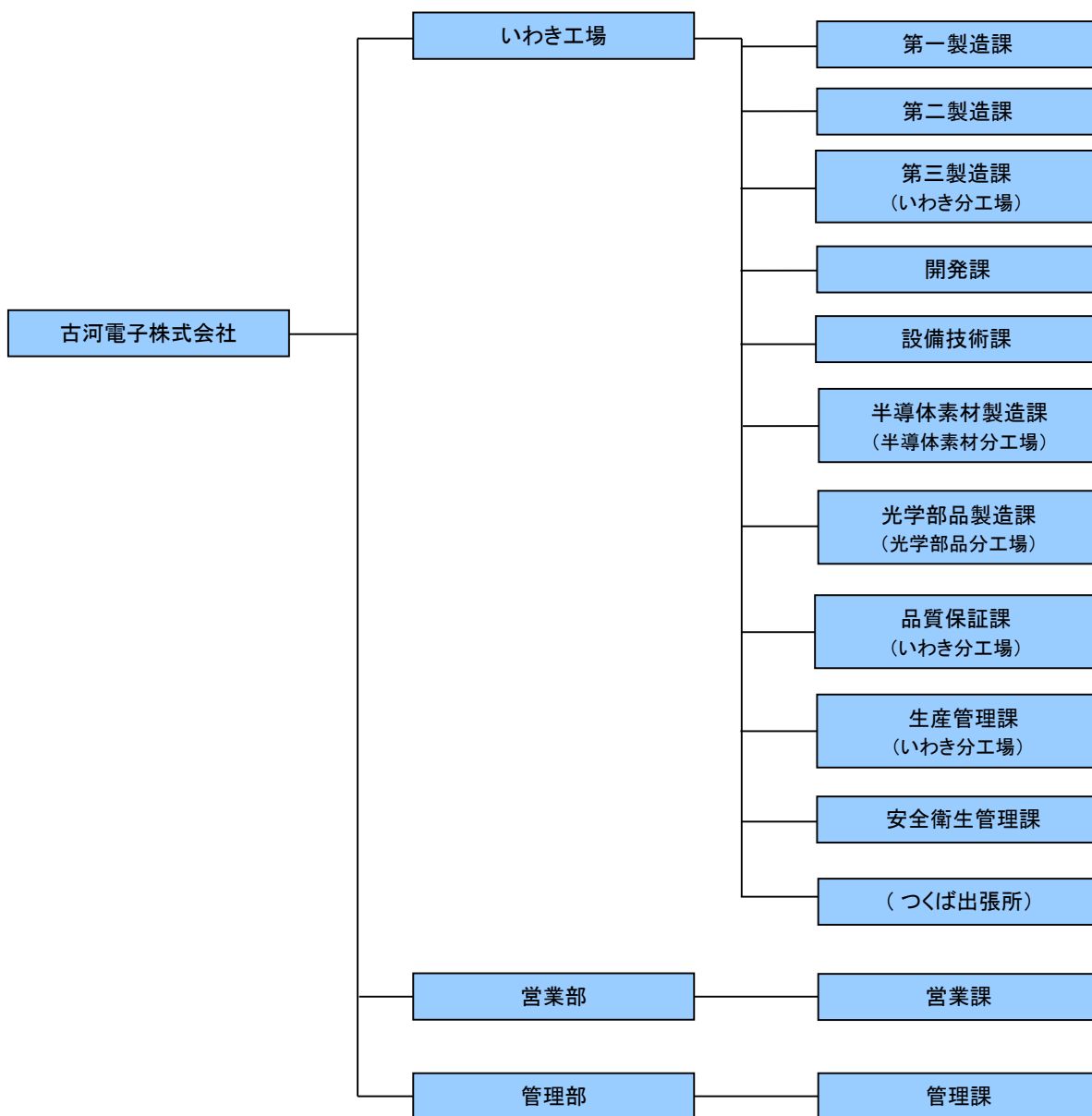
高純度金属ヒ素、ガリウム燐多結晶、シンチレーター用材料

ラインフィルタ用コア・コイル、赤外線透過ガラス、各種化合物半導体材料

レーザー用レンズ・ミラー、窒化アルミセラミックス、フィラー

製品	用途	製品
<p>高純度金属ヒ素</p>	<p>高純度金属ヒ素は、ガリウムヒ素半導体の原料として使用されています。また、その他シリコンのn型ドーパント用、硫化砒素やセレン化砒素等のカルコゲナイド化合物を合成して、赤外線透過材料や半導体ガラスとして用いられています。</p>	 <p>高純度金属ヒ素</p>
<p>窒化アルミセラミックス</p>	<p>窒化アルミニウムは熱伝導性、熱放射性、電気絶縁性などに優れており、これらの特性を活かして半導体製造装置用部品に使用されるほか、基板用材料・フィラーにも使用され用途は拡大しています。</p>	 <p>半導体製造装置用部品 フィラー</p>
<p>ラインフィルタ用コア、コイル</p>	<p>電気・電子機器のラインノイズ対策用途としてスイッチング電源等に使用されています。コア材としてのセンダストやアモルファスは、低損失であることから平滑用チョークコイルに使用されており、電源回路の高効率化に対応しております。</p>	 <p>ラインフィルタ用コア、コイル</p>
<p>レーザー用 レンズ・ミラー  光学ヘッド  回折光学素子</p>	<p>加工用レーザーの光学部品、各種センサーなどの赤外線用光学部品に使用されます。さらにWDMなどの高速光通信にも使用され、インターネットに代表される高度情報化社会の進展を支えています。</p>	 <p>レーザー用レンズ・ミラー  光学ヘッド  DOE(回折光学素子)</p>

# 【組織図】



## <関連・関係会社>

いわき半導体株式会社

FD COIL PHILIPPINES, INC.

## 【沿革】

- 1875年(明治8年) 草倉銅山(新潟県)の経営を開始(創業)
- 1877年(明治10年) 足尾銅山(栃木県)の経営を開始
- 1905年(明治38年) 個人経営から会社組織に変更し、古河鋳業会社とする
- 1918年(大正7年) 古河合名会社の鋳業部門を独立して古河鋳業株式会社を設立
- 1942年(昭和17年) 株式の一部を公開
- 1956年(昭和31年) 足尾製錬所で自熔製錬設備が完成
- 1972年(昭和47年) 電子材料部門にいわき工場、日野研究所を建設  
英文社名をFURUKAWA CO., LTD.と変更
- 1986年(昭和61年) いわき工場の高純度金属元素製造設備を増設
- 1989年(平成元年) 社名を「古河鋳業株式会社」から「古河機械金属株式会社」に変更
- 1999年(平成11年) 素材総合研究所を茨城県つくば市に移転
- 2000年(平成12年) 商品研究所及び技術研究所を新設
- 2002年(平成14年) 研究企画室と商品研究所を統合し、開発部として再編  
半導体装置事業室を新設
- 2005年(平成17年) 電子材料事業を会社分割により古河電子(株)を設立
- 2014年(平成26年) FD Coil Philippines, Inc. 設立
- 2021年(令和3年) 営業部を東京都千代田区丸の内から大手町に移転